

グラフでみる加工食品の 生産・販売、外食等の指標



目次

< グラフでみる生産販売統計 >

1. 加工食品の生産動向
2. 食品卸売業・食品小売業
3. 外食産業
4. 食料品の物価

< 今月のトピック >

- ・ 2025農林水産物・食品の輸出額

食品製造業の生産動向

- | | |
|---------|-------------|
| 1 畜産食料品 | 2 水産食料品 |
| 3 農産食料品 | 4 製穀粉・同加工品 |
| 5 調味料 | 6 コーヒー・茶系飲料 |
| 7 菓子 | 8 調理食品類 |
-

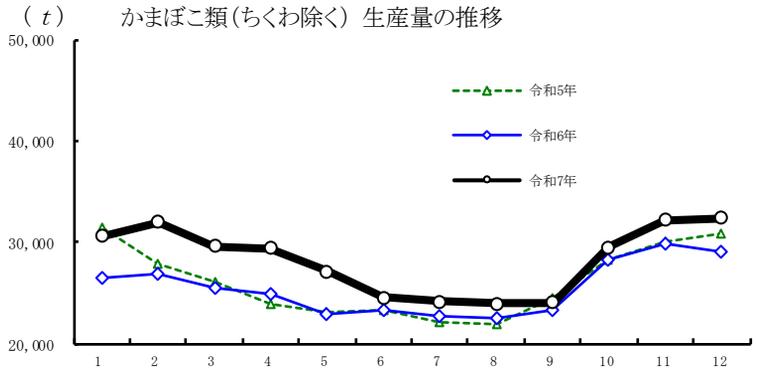


1. 加工食品の生産動向

食品需給研究センターでは、食品製造業の月次生産動向について、調査・分析業務（農林水産省「食品産業動態調査」）として実施しています。<https://www.fmric.or.jp/stat/index.html>
 ここでは、加工食品の主な品目別の生産動向（増減率、速報値）についてとりあげます。
 なお、詳細は、11ページ以降の「食品製造業の生産動向」をご覧ください。

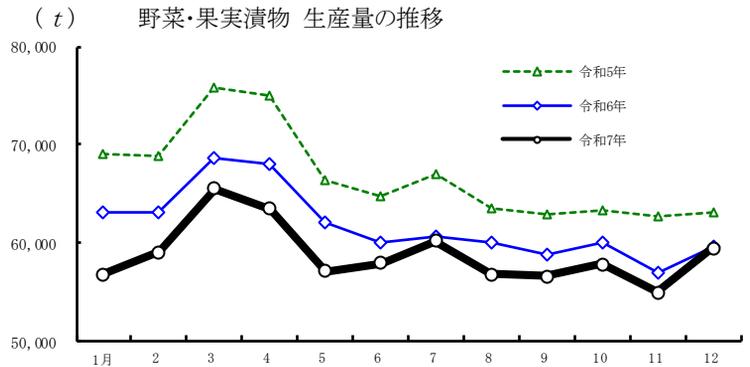
○ かまぼこ類

生産量 対前年同月比
12月 11.6% 増加



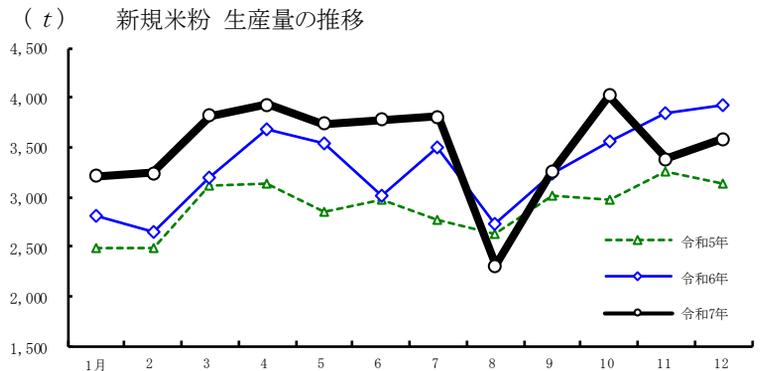
○ 野菜・果実漬物

生産量 対前年同月比
12月 0.3% 減少



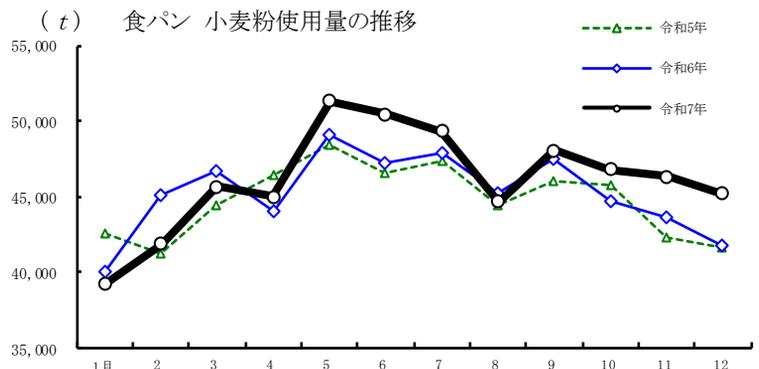
○ 新規米粉

生産量 対前年同月比
12月 8.9% 減少



○ 食パン

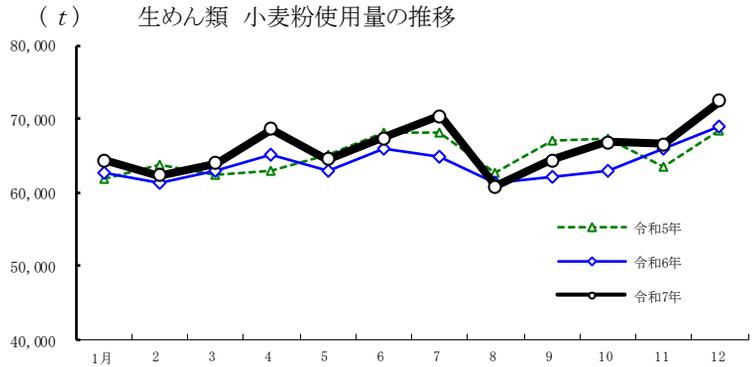
小麦粉使用量 対前年同月比
12月 8.3% 増加



1. 加工食品の生産動向

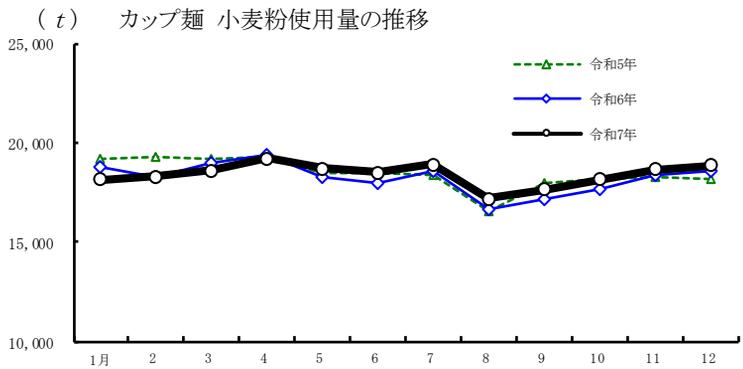
○ 生めん類

小麦粉使用量 対前年同月比
12月 4.9% 増加



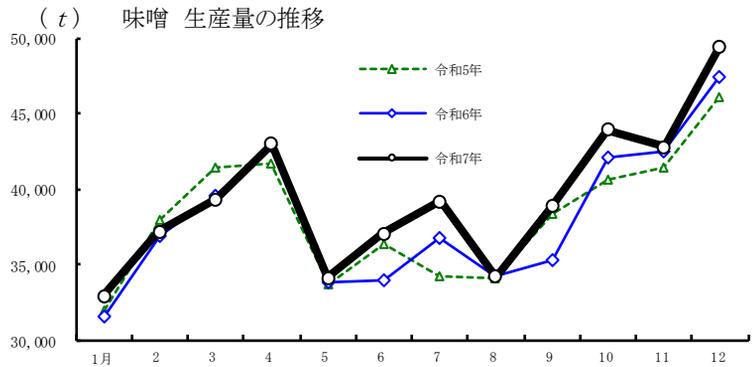
○ 即席カップめん

小麦粉使用量 対前年同月比
12月 1.4% 増加



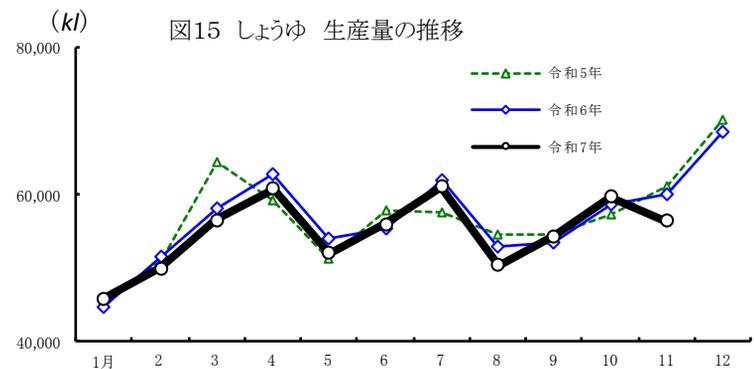
○ 味噌

生産量 対前年同月比
12月 4.4% 増加



○ しょうゆ

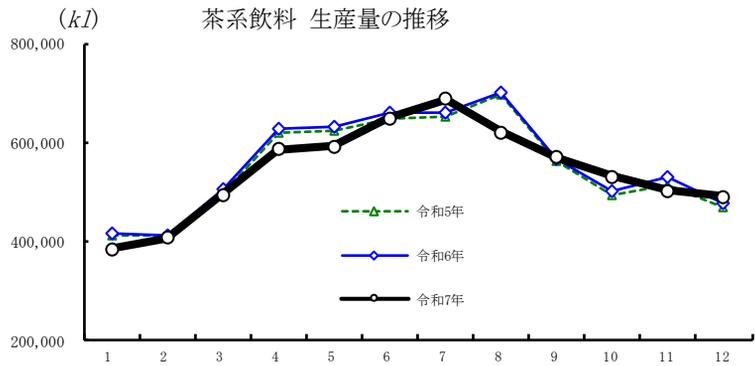
生産量 対前年同月比
11月 6.0% 減少



1. 加工食品の生産動向

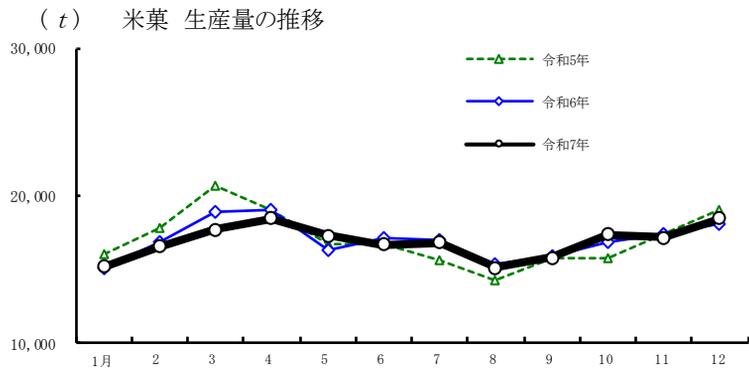
○ 茶系飲料

生産量 対前年同月比
12月 2.6% 増加



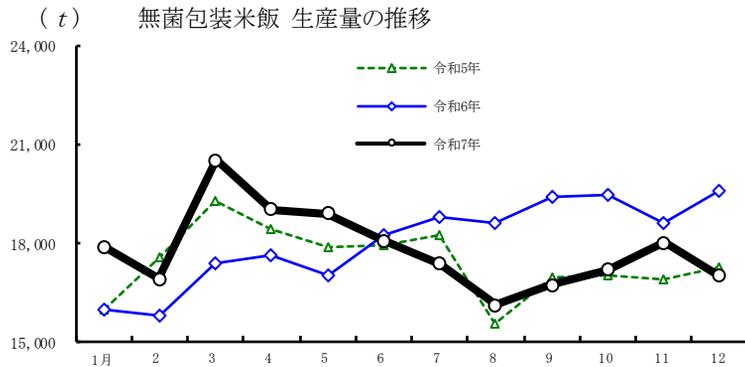
○ 米菓

生産量 対前年同月比
12月 2.3% 増加



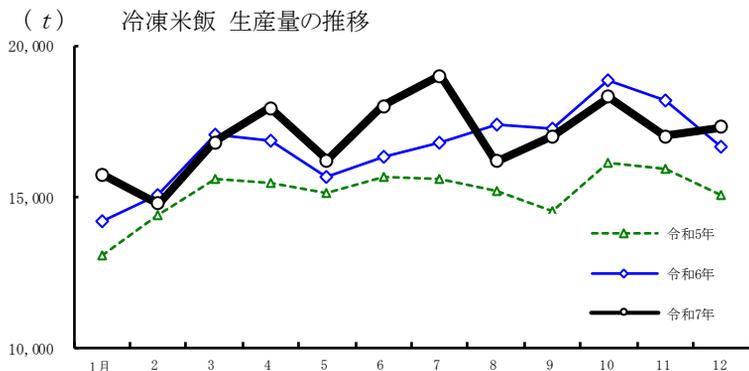
○ 無菌包装米飯

生産量 対前年同月比
12月 13.3% 減少



○ 冷凍米飯

生産量 対前年同月比
12月 3.9% 増加



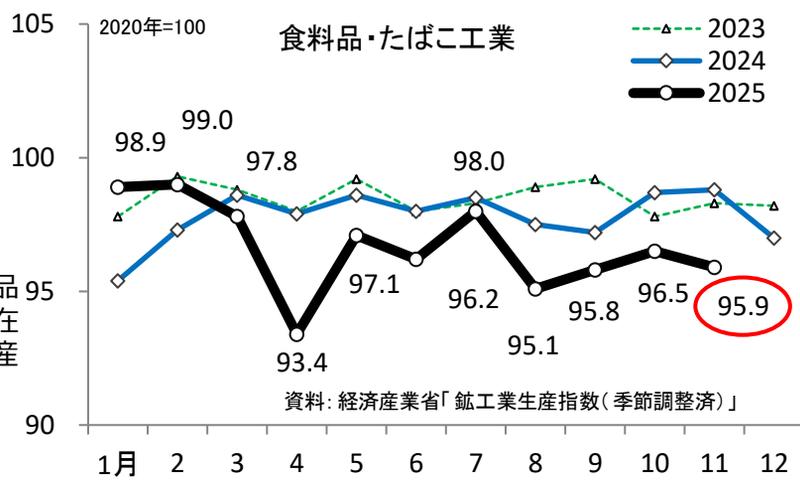
<参考> 食料品・たばこ工業の生産動向
(経済産業省「鉱工業生産指数」より)

○ 食料品・たばこ工業

生産指数 対前年同月比

11月 2.9% 低下

※経済産業省「鉱工業生産指数」は、鉱工業製品を生産する国内の事業所における生産、出荷、在庫に係る諸活動の統計。食品製造業の月次の生産動向について、みることができます。



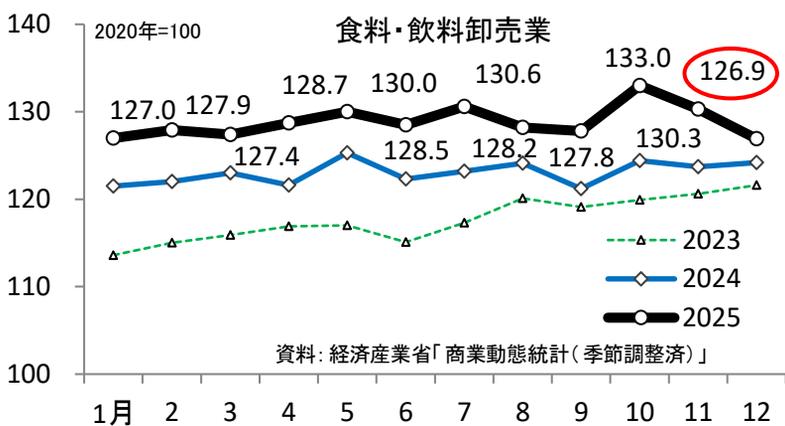
2. 食品卸売業・食品小売業

○ 食料・飲料卸売業

売上高 対前年同月比

12月 2.2% 増加

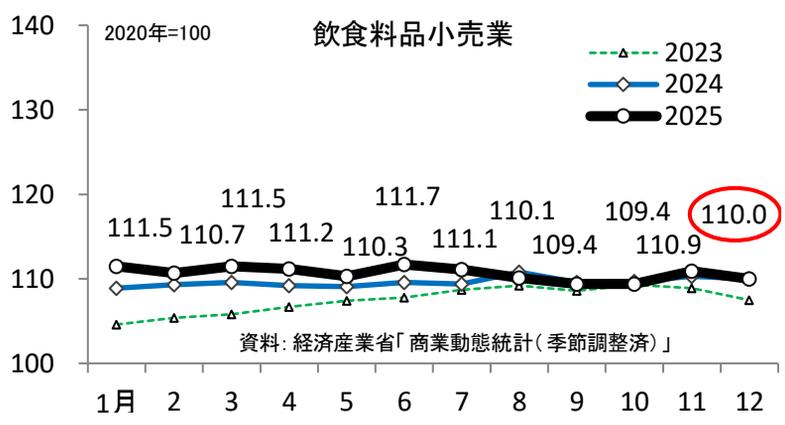
経済産業省「商業動態統計」は、全国の商業を営む事業所及び企業の販売活動の統計。具体的には、卸売業、小売業及び小売業の業態別（スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の飲食料品都等の売上高（月次速報）について、みることができます。



○ 飲食料品小売業

売上高 対前年同月比

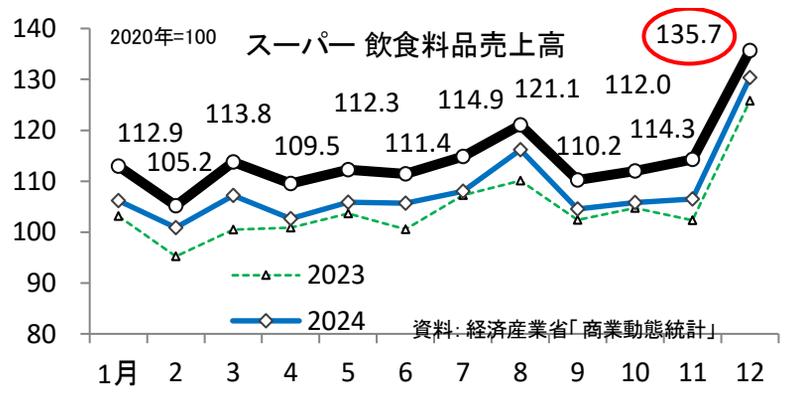
12月 0.0% 前年並み



○ スーパー

飲食料品売上高 対前年同月比

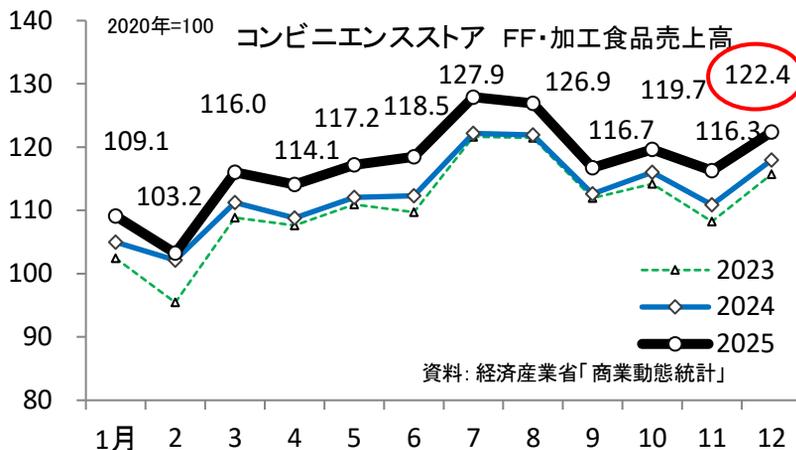
12月 4.1% 増加



2. 食品卸売業・食品小売業

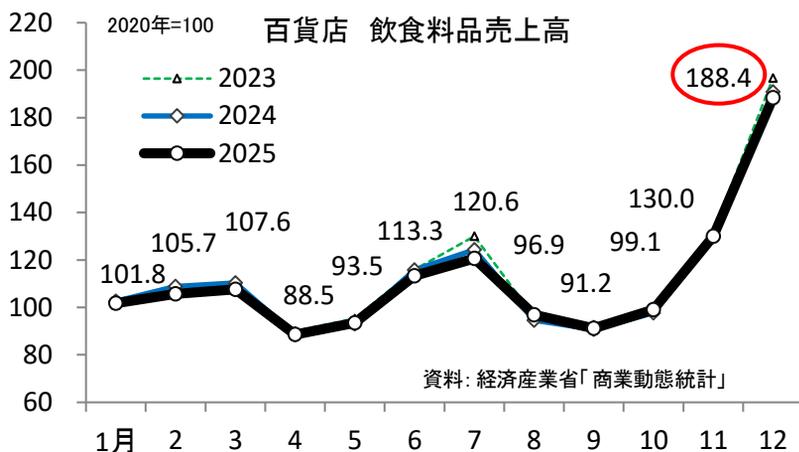
○ コンビニエンスストア

FF・加工食品売上高 対前年同月比
12月 3.7% 増加



○ 百貨店

飲食料品売上高 対前年同月比
12月 1.3% 減少

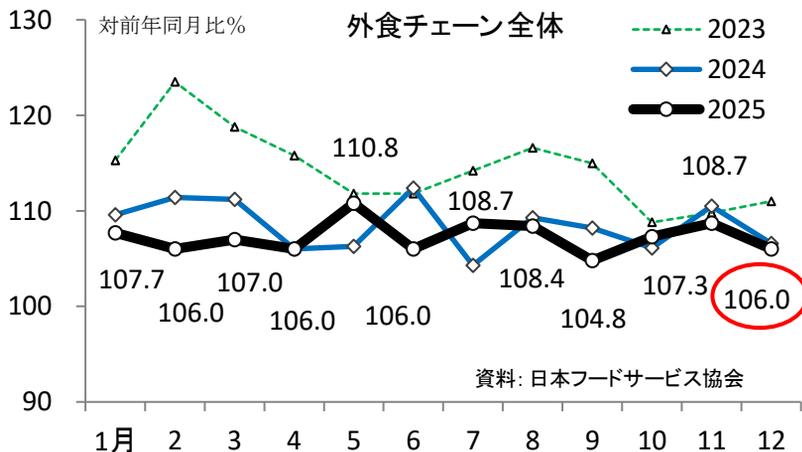


3. 外食産業

一般社団法人日本フードサービス協会の「外食産業市場動向調査」は、外食チェーン企業203社約3万9千店の売上高等についての業態別の統計。直近の売上動向がわかります。

○ 外食全体

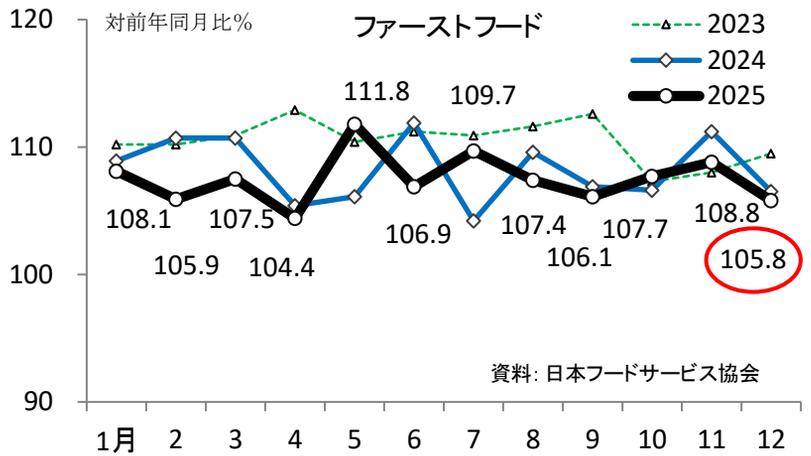
全店売上高 対前年同月比
12月 6.0% 増加



3. 外食産業

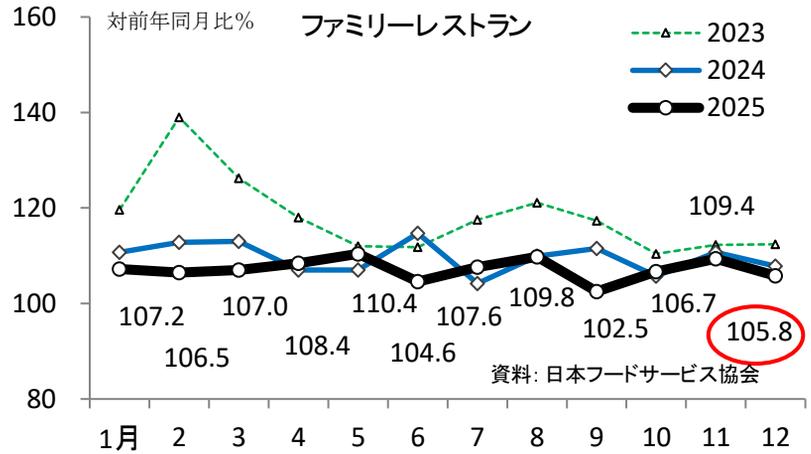
○ ファーストフード

全店売上高 対前年同月比
12月 5.8% 増加



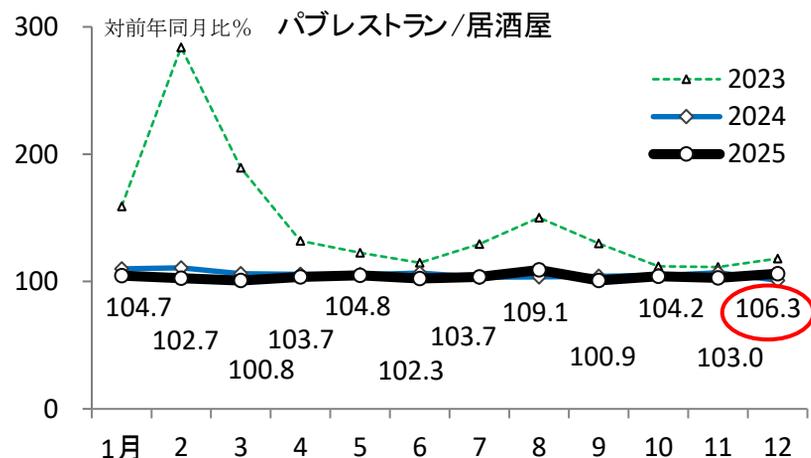
○ ファミリーレストラン

全店売上高 対前年同月比
12月 5.8% 増加



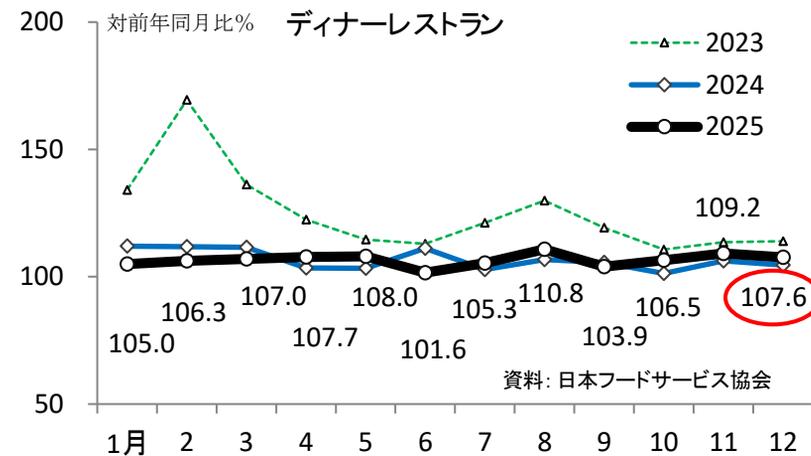
○ パブレストラン/居酒屋

全店売上高 対前年同月比
12月 6.3% 増加



○ ディナーレストラン

全店売上高 対前年同月比
12月 7.6% 増加

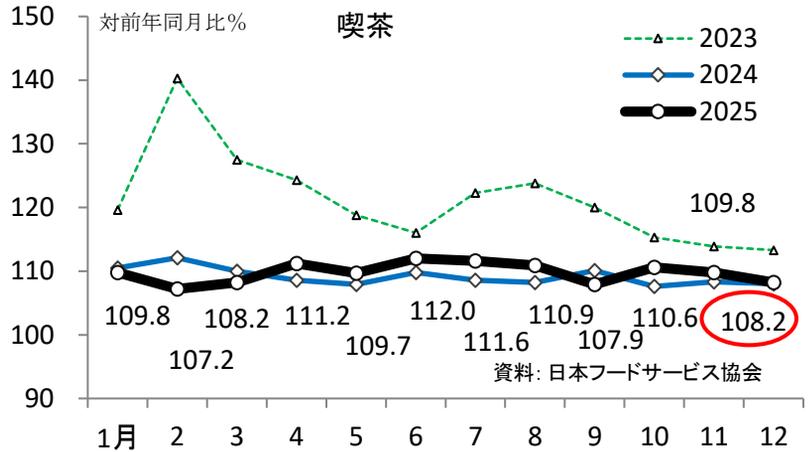


3. 外食産業

○ 喫茶

全店売上高 対前年同月比

12月 8.2% 増加



4. 食料品の物価

○ 企業物価指数

企業物価指数は、企業間で取引される品質を固定した商品（財）の価格を継続的に調査し、現在時点の価格を、基準時点（2020年）の価格を100として、指数化したもの。

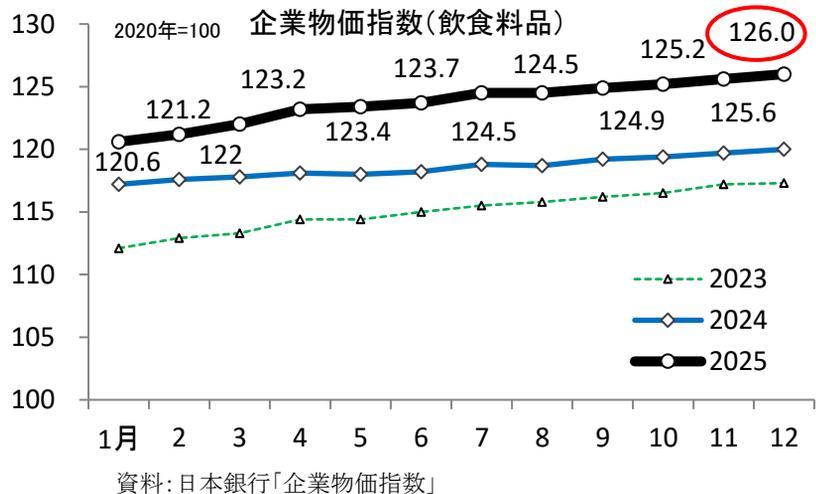
このうち、食品製造業（飲食料品）の出荷販売価格について、みることができます。

資料：日本銀行「企業物価指数」

○ 企業物価指数 （飲食料品）

飲食料品 対前年同月比

12月 5.0% 上昇



○ 消費者物価指数

消費者物価指数は、全国の世帯が購入する財及びサービスの価格変動を総合的に測定し、物価の変動を時系列的に測定するもの。

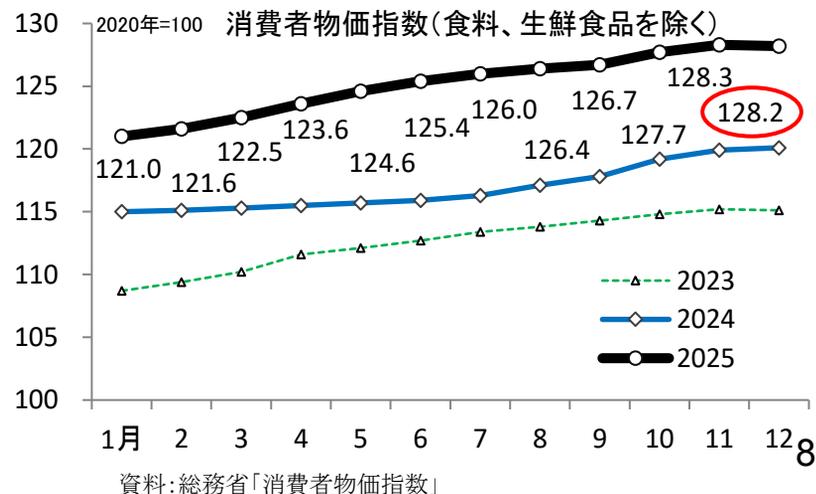
このうち、食料（生鮮食品を除く）について、みることができます。

資料：総務省「消費者物価指数」

○ 消費者物価指数 （食料（生鮮食品除く））

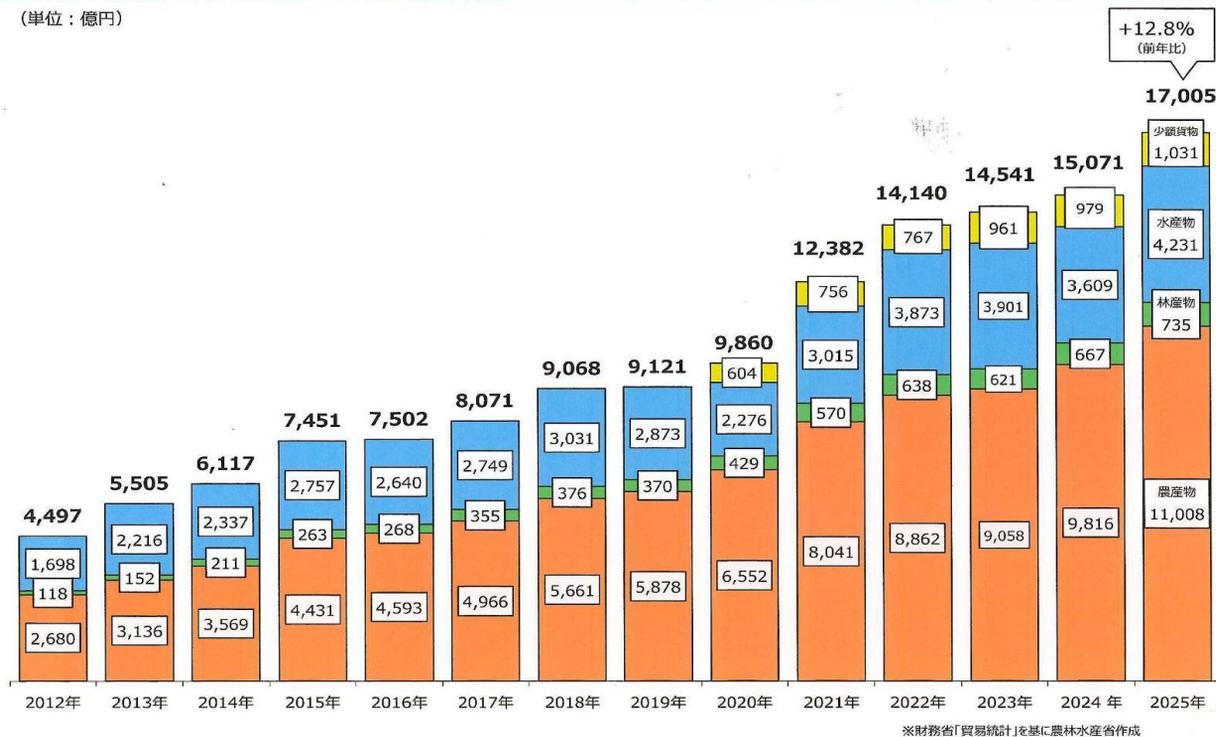
食料 対前年同月比

12月 6.7% 上昇



農林水産物・食品 輸出額の推移

(単位：億円)



2025年1-12月 農林水産物・食品 輸出額 (国・地域別)

順位	輸出先	2025年1-12月 (累計)				2025年12月 (単月)						
		輸出額 (億円)	金額 構成比 (%)	前年比 (%)	輸出額内訳 (億円)			輸出額 (億円)	前年 同月比 (%)	輸出額内訳 (億円)		
					農産物	林産物	水産物			農産物	林産物	水産物
1	米国	2,762	17.3	+13.7	1,847	88	828	265	+0.6	193	7	65
2	香港	2,228	13.9	+0.8	1,354	20	854	198	▲ 8.9	132	2	65
3	台湾	1,812	11.3	+6.4	1,364	45	403	222	▲ 2.0	170	5	47
4	中国	1,799	11.3	+7.0	1,387	345	67	177	▲ 2.2	132	34	12
5	韓国	1,094	6.8	+20.0	689	40	365	139	+25.1	66	4	70
6	ベトナム	954	6.0	+10.7	453	7	493	121	+27.4	56	1	65
7	タイ	735	4.6	+17.1	379	11	346	72	+26.9	35	1	36
8	シンガポール	563	3.5	+1.2	460	6	98	48	▲ 9.5	36	1	12
9	ロシア	414	2.6	+439.3	413	0	1	4	▲ 90.0	4	0	0
10	オーストラリア	382	2.4	+16.6	329	2	50	35	+19.0	27	0	7
-	EU	997	6.2	+16.2	821	22	154	115	+32.7	95	2	19

2025年の農林水産物・食品 輸出額（1-12月）（品目別）

品目	金額 (百万円)	前年比 (%)
畜産品	142,769	+2.3
畜産物	117,253	+9.2
牛肉	73,105	+12.8
豚肉	2,977	+25.3
鶏肉	2,548	+2.7
鶏卵	8,140	+14.5
牛乳乳製品	30,482	▲ 0.2
果樹・野菜等	71,071	▲ 2.9
りんご	14,369	▲ 28.6
ぶどう	4,669	▲ 21.3
もも	2,474	▲ 16.2
かんきつ	1,436	▲ 3.4
かき・かき加工品	1,118	▲ 1.1
なし	1,141	+11.7
いちご	6,736	+24.6
かんしょ・かんしょ加工品	4,465	+24.0
ながいも	3,721	+10.9
メロン	1,200	▲ 5.9
たまねぎ	123	▲ 62.3
穀物等	78,233	+5.5
米（援助米を除く）	13,880	+15.4
バックご飯等	2,022	+31.0
その他農産物	198,496	+27.3
緑茶	72,094	+98.2
花き	7,872	▲ 19.8
切り花	1,491	▲ 9.3
植木等	6,090	▲ 23.1
たばこ	22,844	+14.5

品目	金額 (百万円)	前年比 (%)
加工食品	572,488	+7.2
清涼飲料水	60,434	+5.2
菓子（米菓を除く）	37,384	+8.8
米菓（あられ・せんべい）	5,959	▲ 9.3
ソース混合調味料	72,146	+7.8
味噌	7,142	+13.1
醤油	13,493	+10.7
アルコール飲料	149,477	+11.8
日本酒	45,879	+5.6
ウイスキー	48,979	+12.2
焼酎（泡盛を含む）	1,960	+13.9
農産物計	1,100,821	+12.1
林産物計	73,478	+10.1
製材	10,238	+38.4
合板	8,609	+16.5
丸太	29,850	+5.8
木製家具	8,910	+9.4
水産物（調製品を除く）	353,604	+25.4
ぶり	52,775	+27.4
たい	8,024	+16.2
ホタテ貝	90,587	+30.4
牡蠣	4,242	▲ 12.2
真珠（天然・養殖）	41,167	▲ 0.1
錦鯉	9,973	+37.9
いわし	20,742	+91.8
かつお・まぐろ類	21,537	+7.2
さけ・ます	4,493	▲ 20.5
さば	19,077	+94.5
さんま	876	+101.4
すけとうたら	1,389	+21.1
水産調製品	69,514	▲ 12.0
なまこ（調製）	7,893	▲ 24.8
練り製品	11,768	+4.4
ホタテ貝加工品	11,827	▲ 33.2
牡蠣加工品	1,270	▲ 8.9
水産物計	423,118	+17.2
農林水産物・食品	1,597,417	+13.4

※財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成
 ※「バックご飯等」は、バックご飯・加工米飯・米粉及び米粉製品の合計。政府による食糧援助を除く。
 ※「ソース混合調味料」は、カレー・調製品・マヨネーズ・ドレッシング・酢・ウスターソース類等の合計
 ※2025年から、「ソース混合調味料」には酢、「製材」には改良木材、「合板」にはLVLやブロックボード等を含む
 ※農産物計には、詳細の不明な農林水産物37,765百万円を含む

品目別の状況（1-12月）

輸出額の増加が大きい輸出重点品目

品目	増加額	主な増加要因
緑茶	+357億円	欧米・ASEAN向け等が健康志向や日本食への関心の高まり等を背景に、ラテやスイーツ等の食品原料となる抹茶を含む粉末状茶を中心に増加。
ホタテ貝	+211億円	ベトナム向けが加工用の冷凍両貝に加え、玉冷の現地加工の拡大等により増加。
ぶり	+113億円	米国向けが2024年夏の環境変化による成長の遅れに伴う輸出時期の後ろ倒しのほか、脂の乗った大型サイズの需要の高まり等で単価上昇により増加。
牛肉	+83億円	欧米・アジア向けが既存商流の拡大や新規商流の開拓等による需要の高まりにより増加。
ウイスキー	+53億円	シンガポール向けが認知度の向上による需要の高まり等により増加。
ソース混合調味料	+52億円	米国・アジア向けが日本食への関心の高まり、インバウンドの増加等により、マヨネーズのほか、ごま味やしそ味など様々な調味料の需要の高まり等により増加。
菓子（米菓除く）	+30億円	米国・アジア向けがSNSを通じた日本産品への人気の高まり、新規商流の開拓による需要の高まり等により増加。
清涼飲料水	+30億円	アジア向けが健康志向の高まり等を背景とした緑茶飲料などの需要の高まり、現地規制に対応した商品の導入等により増加。
製材	+28億円	米国向けが日本産スギフェンス材の認知度向上による需要の高まり等により増加。
錦鯉	+27億円	中国向けが施設認定の更新により再開したほか、米国向けが現地プロモーションによる人気の高まり等により増加。